

発表意見

〔A グループ〕

5年から10年後を見据えた合唱活動の充実・拡大に向けて、ということで、Aグループは各団の活動状況を紹介いただきまして、困っていることについて話し合いをいたしました。その中でピックアップさせていただきまして、一つの事例として、指揮者・ピアニストが同時に辞めてしまった、という団がございまして、今後活動が止まってしまう、合唱連盟も脱退しないといけない、という相談がありました。合唱連盟の理事よりやめないでほしいというアドバイスがありました。で、そういった事態が発生したときに合唱連盟に相談の窓口、そういうものがあればいいんじゃないかと。ピアニスト、指揮者がいなくなるといったときに知り合いを通じて探してこれるところはいいんですが、それがなければ、連盟をたよりに、そういう助け船を出していただけるようなシステムがあればいいなあ、ということが出ました。それから、今後の活動ということで、年齢層に近い、というか高齢の合唱団が多い、ということで、今後は年齢層を幅広くもって、息の長い合唱団を作り上げていくのいいね、と。ただ、それをするにはメンバーの勧誘とかが必要なんですが、なかなか難しい。まあ、ホームページとかが一番効果があるかな、という意見が出ておりました。それから、団員が多いと演奏会とかを行うにも経済的な負担が少ない、ということで、大きな団のほうが活動しやすいのかなあと、いう意見も出ておりました。それからジョイントコンサートですが、ステージを作るには負担が大きい、出演の時期もあるのでなかなか出にくい、という意見もあるなかで、やはりPRの場、発表・発信の場ということで引き続きジョイントコンサートは続けていってほしいという意見がありました。

〔B グループ〕

Bグループで話が出たのは、合唱連盟の今後ですが、シニアが多くて元気がないと、若い人に入ってもらったらいんじゃないかなというふうなことなんですが、なかなかそういうわけにはいかない。若い人に入ってもらうには、一般の人にも、発表する場を設けていったらどうかな、ということ。それは合唱連盟から誘いをかけていただく。それには、小学生、中学生の人たちに出ていただいて、合唱連盟に登録していただく、という形をとっていただいたら非常に若返ってくるんじゃないかという意見が出ておりました。若い人たち、一般の前で発表する機会がない、ということなんですが、それを合唱連盟のほうからしていただいたらいい、ということです。それと、どこの団もですが、人数が減ってきているということで、地域毎で合流して存続させていったらどうかな、という意見が出てました。存続させるには、いろんな団がありますが、同じような団があれば合流してやっていくとか、いう方法もあるんじゃないかということで。それと、あと一つは、フェニーチェ堺、これが来年の秋くらいに出来るか、その次の年くらいかもしれませんが、それを機会にコンクールなどをしてはどうかということです。つまり、シニアグループ、それから一般グループ、それから小学生グループ、というふうなことでコンクールをして、でまあ表彰状の1枚でもくれたら嬉しいんじゃないか、ということです。金一封があればなお嬉しいんですけどもね。それから、コーラス交歓会なんですが、直前の声出しをもう少ししたいと、いうことだったですね。コーラス交歓会では声出しをしてないのであまりいい声が出ない、というふうな意見がありましたので、もう少し出していただいたら、ということです。それと、着替える場所が、最初来た人は広く使っているんですが、あとから来た人が隅っこで着替えていると。これは女声の場合なんですが。それで、割り当てられた人数で広く使えるようにしてほしい、ということが要望として出ておりました。以上です。

〔C グループ〕

Cグループは女声ばかりでしたが、団の悩みとか、現状とかを話し合いました。それで、高齢化に伴って減少化しているために団員の募集の方向として、どんなことをしているか、ということで、練習場の前に張り紙をしてみたり、練習場の近くにチラシをポスティングしてみたり、団員が知り合いを連れてきたり、といろいろ努力はするけれどもなかなか難しく、例えば、高齢の方が高齢の方を連れてこられて、やっぱり高齢化のままとか、PTAのコーラスとかで元気な若いお母さんとかたちも呼びかけて来てくださることもあるんだけど、年齢差が大きすぎてちょっと入りにくかったりとか、今の小学生たちのお母さん方は仕事をしてたり、子供の稽古事にかまっていたりと、とても忙しくて、なかなかコーラスをやってもらえないという感じ。それに、今残っている、高齢といわれている私たちは、青春の時代にコーラスをして、喜んで歌っていた人たちが皆わりと今、残っているんじゃないかな、という声がありました。それから合唱連盟のPRに関してとか団員を増やすとかについては、新しくできる市民会館で、合唱連盟として何かできないかなあ、と。以前、風になれ、とか、仁徳、とか大きな事をやりましたし、また第九とかでもいい。理事の先生にソリストをやってもらったり、オーケストラを呼んだり、実現性の問題はいろいろあるかもしれないけれども皆が歌って参加できるという点でいいのでは、という意見が出ていました。そこに、合唱連盟の団はもちろん、歌いたい人は一般の加盟していない人も加えて募集して、歌ってもらったり聴きにきてもらったりして、コーラスいいなあ、歌いたいなあ、という人が増えるのではないのでしょうか、ということでした。それから、ジョイントコンサートのことですが、一つの団でやるのは大変なのでそれよりはいいのですが、実際にそれに出るとなると、合唱祭や交歓会に加えて、そのための練習が必要になるので、練習が大変だ、という声、それと経済的な負担も加わり、なかなか出にくい、というような意見もありました。

でも、今年はダメだけでも、次は出ようか、と考えてるところもありました。それと、合唱祭に関してですが、アンケートについて、いろいろ書いていただいて励みになるんですが、中にはグサツときて落ち込んでしまうようなことも書かれてある、ということと、書くほうも短い時間に書くのが負担になります、という声がありました。また、今、音を録音したCDをいただいているわけですが、DVDがあればほしいなあ、ということで、そのかわり写真はもういいかなあという意見もありました。最後、皆の団の悩みのなかで、高齢化に伴う団員の減少にしたがって、経済的というか、団の運営が苦しくなっている、というのも現実で、先生方の謝礼を下げたりするのも難しいし、団員の会費を上げるのも難しいし、団員を増やすしかないです。ということで、指導していただいている先生方には、高齢の私たちが本当に忍耐強く、今いったこともすぐ忘れるようなのにまた繰り返して同じことを指導していただく、というのはありがたいことですが先生方たいへんだなあ、という反省もこめています。普段の練習のなかでもいろいろ人間関係とかで難しいこともあるんですけども、みんな楽しく歌っていけたらいいんじゃないか、ということでした。

〔D グループ〕

5年10年後を見据えた合唱活動の活性化について、まずホームページ上の宣伝ということで、それが即入団につながるということではないんですけども、効果がありましたということです。それから泉北コミュニティーでの宣伝、これは交歓会ですとか演奏会のあとにコミュニティーで宣伝すると効果がありましたということです。あと、連盟のほうに愛唱曲集というものを各団から提出いただいて、それで新しく入団希望される人に、こういうものがあります、という曲集ですね、そういったものを集めて紹介していただけるような形をとっていただけると、それが新しい人の募集につながるのではないかな

あ、ということです。それから、新しい取り組みとして、You Tube 上に、団の練習の音源をアップして、それを団員限定で聴けるようにして、それを利用して練習の向上につなげているという意見がありました。それは例えば、演奏会に来られていなかった人でも、そういうのを見ることによって、練習の助けになる、ということでした。それから今後の先を見据えた活動については、やはり声掛けをして、とにかく来てください、と声掛けをして、そして、来た人を取り込むという姿勢で、やることが大事だということです。

ジョイントコンサートの件ですが、今度は例えば出る団が4団体です、という形で限定するのではなく、少人数の団についてもっと出演する機会を今後与えていく、というのがいいかと思います。

新しい、今まで出たことがない、今度出たいという団の方がどれくらいおられるのかが見えないのでそれを明確にして、同じ団ばかりが出るということのないように配慮をお願いしたい。

[E グループ]

7団体それぞれの団の現状を紹介してもらいながら進めましたが、一番の問題はやはり高齢化して団員が減っているということで、特に女声の方のお話ではご主人の介護が大変で、休んでいるメンバーが増えていると、そしてご自身もご高齢になってきて練習に行くのにも苦勞しているということです。

あともう一つの苦勞は、練習会場の確保がなかなか大変だということ。安くて、まあタダであればいいんですけども、安くてピアノのある場所を探すのにどこの団も苦勞されていて、なかなか団員を増やすところまでいっていない、現状維持で精一杯、という感じです。まあ、その中で唯一明るい例としては、26歳の男声が私の団につき最近入ってくれたんですが、そのきっかけというのは、はっきりしたきっかけはないんですが、やはり普段からその、その男声の今回はお母さんですけども、お母さんにアピールして、コーラスやっておられない方でしたけれどもアピールして、演奏会に来てもらったりして、そのご家族のお話の中で息子さんがその気になったこともある、ということで、希望を捨てずに、そういうこともあるんだということで地道にPRをしていけば、全く道がないわけではない、ということです。あと、将来的にどうしていくかということですが、一つの手として、これは昨年も出たんですけども、演奏会に足を運んでもらうというのがなかなか難しいということもありますので、地域のショッピングセンターなり、大きなターミナル駅の広場なんかでの演奏活動、人が集まる場所での演奏活動をしてはどうかと。不特定多数の方にコーラスを聴いていただくという場が必要。場があれば、少しでもコーラスを知ってもらえるということで、その、場づくりというのは連盟をお願いしたい。一つの団だけではなかなか難しいので。連盟のバックアップをいただいでいくつかの団で一緒になってやる、ということを考えていたらどうかということですね。あと、先ほどありましたコミュニティ紙、地域紙に宣伝として載せてもらう、ということです。

ジョイントコンサートについては、是非ということは確かにあるんですが、大きな目的として連盟の資金集めということもありますのでしかたがない。やっぱりやらないと仕方がない。ということで、じゃあどうやって盛り上げていったらいいのかということで、新企画ということで、まあコーラス、ということに限らなくていいんじゃないかと、企画としていくつかの団が出たとして、一つの企画として例えば中学・高校などのブラスバンドなり、チアを呼んで参加してもらったらどうかと。それをするとご両親、お父さんお母さんもついて来るので、これをダシにして、お父さんお母さんにコーラスを見せると、それでその中からコーラスに興味をもってもらえたら、ということも一つの目的としてできるんじゃないかと。そういう形の新企画もいいんじゃないか、ただあくまでもコーラスに限らずに、全然違うところからの参加を呼びかける。それも一つの手じゃないかということです。

あと、その他ですけれども、皆さんおっしゃっていた新しい市民会館の、こけら落とし、というところで、やはり堺市の市民会館ですので、堺市の合唱連盟がかまないとおかしい、かむべきだと。できるだけ連盟全体の団を召集してですね、何か大きい出し物、催し、まあ第九とかおっしゃってましたけども、例えばまあオーケストラもつけてですね、是非企画してほしい、そういったことができました。

〔F グループ〕

5年、10年を見据えた活動について、というテーマについてですが、5年、10年よりも今年、来年のほうが何となく気になりますね。外部へ月に1回楽しく歌う会を開く、体感トレーニングを取り入れて体力をつける、老人ホームへ行ってボランティアで歌う、あちこちへ行って歌っていると、聴いている方が入団してくださることもある、というご意見が出ておりました。まあ、あと月1回練習日なんですけれども、多くの方に歌を歌うことを楽しんでいただきたいということで声をかけまして、今練習している会館で、歌っていただく。そしてそこからグループに入っていただけかなあという願いを込めて、やっているんですが、ちょっと脈はあるんですけども、それからもう一步踏み出していただけるところまではいかなくて、またそういう機会が出来たら、という形でその日は終わってしまいました。根気よく、ずうっと一人でも二人でも入部かな、と期待しながら声掛けをしております。

それから、老人ホームへ行ってボランティアで歌うということ。ある時に行って歌っていると聴いている方が入団してくださることもあるので、大いに期待をして今年、来年を一人でも二人でも人数が増えることを待っています。

それからジョイントコンサートについてですが、練習の回数が増えて大変になる、というご意見があり、また、練習の会場に足を運ぶのが大変になる、というご意見もありました。2団の合同である場合は、会場が2箇所になり、先生方のご都合、練習回数が増えるという当然のことではあるのですが、そういう意見がありました。

そのほかに、連盟へのお願いも兼ねててですが、市民合唱祭のとき、または交歓会のとき、出演の衣装をもって荷物の置き場所に困るというご意見が出ておりました。これは参加人数が団によって違いますし、控え室も細かく何人と小分けするわけではないのでなかなか難しい問題だとは思いますが、そういうご意見がありました。それから、アンケートに関してですが、合唱祭のときに各団のアンケートを書きますけども、前回と同じ団だったので、書きづらいというご意見があり、で一方では書いてもらって、コピーして団員に配ったり、アンケートを楽しみにしている指揮者の先生が読んでくださったり、批評は参考にとともなりますとのことです。